

第30号

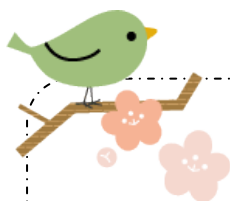
# あか牛 オーナー通信



(公財)阿蘇グリーンストック 2012年3月発行



 阿蘇市の農免道路沿いのあか牛



★ 冬の名残のまだ去りやらぬ候、オーナーのみなさまに  
おかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。



## 現在のオーナー牛

### 【個人契約】

#### 1 オーナー数及びオーナー牛頭数

41名の登録で42頭となっています。2011年度は6名の6頭です。

#### 2 受け入れ農家数及び頭数

小堀 1戸×2頭 木落 1戸×6頭 狩尾 7戸×14頭

北坂梨 5戸×7頭 波野 7戸×13頭

※現在オーナー申し込みが1件、2頭ほど希望されています。来年度からの参加となる予定です。

### 【団体契約】

#### 1 オーナー数及びオーナー牛頭数 (団体加入の仕組みについては前号参照)

196名の登録で、42頭となりました。全て2011年度の契約です。

#### 2 受入れ農家数及び頭数

小堀 2戸×4頭 狩尾 3戸×10頭 北坂梨 2戸×2頭

波野 2戸×2頭 町古閑 1戸×2頭 赤水 1戸×4頭

南阿蘇の牧野 18戸×18頭

**\*\* オーナーの受け入れを希望される農家の方は事務局まで連絡をお願い致します。**

※阿蘇草原再生募金の助成申請をして導入した牛を“あか牛オーナーの牛”とすることも可能です。この機会に御検討ください！

---

## 波野地区

2月の下旬、雪が降らない日が続いたため、箱石峠や滝室坂を越して波野地区へオーナー牛に会いに行ってきました。



岩瀬與さんと、竹田様オーナー牛「ひろの」

初めに尋ねたのは、竹田様のオーナー牛「ひろの」と、受入れ農家の岩瀬與さんです。

「ひろの」には仔牛も産まれていました。與さんはこう見えてすでに80歳を越しており、ずっと元気に畜産を続けてくださっている素敵なお方です！

次に尋ねたのは、岩瀬與さん宅と同じ集落の、岩瀬新次さんです。岩瀬新次さんは4名のオーナーさんを受け入れてくださっています。

野口様のオーナー牛「みどり」も仔牛を生んでおり、こちらはオーナーである野口様が命名し、「ゆうゆう」と名付けられたそうです！とても元気に大きく育っていました。素早く動き回り、ブレている写真しか撮れなかったため、「ゆうゆう」の姿を御紹介できません。とても残念ですが、次回また写真を撮りに挑戦したいと思います。



野口様のオーナー牛「みどり」





亀井様のオーナー牛、「五山」

亀井様のオーナー牛「五山」も出産しており、この写真の左側に写っているのがその仔牛です。牛舎にいた仔牛は赤い光で照らされており、岩瀬さんに理由を尋ねると“赤外線で温めている”とのことでした。冬は仔牛にとっても寒いんですね。

「五山」は初めて見る私に興味深々だったようで、顔を伸ばしてこちらをじいっと見つめていました。

こちらは阪本様のオーナー牛「ともこ」で、岩瀬さんが与えた飼料を食べている時の一枚です。

おでこの毛がくるくるカールしているのがよくわかる写真が撮れました。このおでこの毛はどの牛もありますが、あまりカールしていなかったり、綺麗に巻いていたりして、人間の髪の毛と同じように個体差があるようです。



阪本様のオーナー牛、「ともこ」



中川様のオーナー牛、「トオル」

そして、今年度新たに受入れていただいた1頭です。

中川様のオーナー牛「トオル」です。この写真で、まだ角が大きくなっていないのがお分かりでしょうか？4月生まれのまだ若い牛のため、写真の他の牛と比べて角が育ちきっていません。産まれたばかりの仔牛は角がなく、それから角が生え、伸びていき、上の牛たちのように大きくなっていきます。これから「トオル」

の成長していく姿も追っていかれたらと思います。

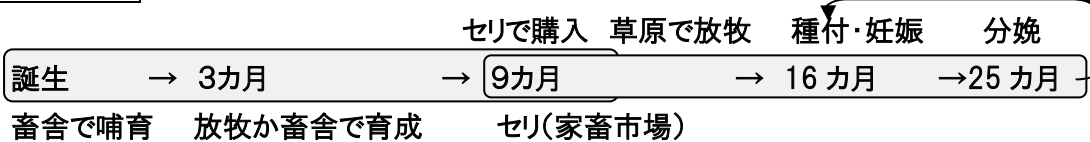
・・・ コラム： あか牛育成のながれ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

前回に引き続き、牛についてです。育て方や環境は農家の方によって細かく違いますが、今回は大体のながれについて書いていきます。牛は人間と近く、妊娠から十月十日程度で、仔牛もほとんど単子（1頭）で産まれます。

**雄・食肉用雌牛**



**繁殖用雌牛**



・・・8産くらいした後、9～10歳程度で食肉として出荷

育成農家  肥育農家

※育成と肥育を一貫して行う農家もあります。

セリの前には各地区ごとに一等賞をとった牛が集まり、品評会が行われます。

右の写真、手前に写っている方たちは畜協の職員さんで、牛の容姿や血統などを審査しているところです。お尻の形や顔などもしっかりチェックされ、スタイルと見栄えも賞をとるには大切だそうです！

賞をとると、セリで売値が高くなることが多いそうです。



南阿蘇畜協での品評会

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・





市原さんと橋本様オーナー牛「ブリッジ」と仔牛

最後に橋本様のオーナー牛の「ブリッジ」に会いに行きました。こちらにも仔牛が産まれており、お母さんのあとをついてまわっていました。「ブリッジ」の飼養者は市原豊一さんです。市原さんは自宅の隣に面した場所でも放牧されていて、この日も何頭かのあか牛が放牧されていました。

左の写真で市原さんが持っているもの、ご存じでしょうか？

この3輪になっているもの（右写真）、ブラッシングする道具だそうです！金物屋さんが手作りで作っている物で、市場の時などにこういった有畜農家さん向けの商品のお店が出ているそうです。



市原さんがブラッシングをやめて他の牛のところに行くと、「やめないでー」という感じで後ろから追いかけてせっついている仔牛もいました。

## 狩尾牧場



松田様のオーナー牛「竹」



「竹」の子、「ゆうか」

狩尾牧場の石川さんに仔牛誕生の報告と写真を頂きました。「ゆうか」は12月23日に誕生したそうです。まだ鼻輪も耳票もついていません。

---  
\*\* 編集後記 \*\*

今号は波野の特集となりました。農家さん廻りの途中で放牧中のあか牛に出会いましたが、飼養者の方が持ってきた干し草を布団代わりにのんびり寝ていました。その布団代わりの草を寝そべっている牛の横でモグモグ食べている牛もいて、干し草って暖もとれて食料にもなるんだと今更ながら感心しました。

また、今回仔牛が走るのを初めて見たのですが、シカのようにびよんびよんと走っていて、意外な俊敏さとスピードに驚きました。

1年間通信の担当をしてあか牛のことを随分わかってきたつもりでしたが、取材の度に新しい気付きと驚きがあり、楽しい時間を過ごせます。また来年度もあか牛について学べ、オーナーの皆様のための良い取材が出来たらと思います。よろしくお願い致します。

**インターネット上でオーナー制度に関する情報を公開しています！！**

阿蘇グリーンストックのHP上にあか牛オーナー制度のページが完成しました。

- ・あか牛オーナー制度について
- ・オーナー牛の写真（カラー）
- ・あか牛オーナー通信26号～現在まで（カラー）

以上の情報が掲載されています！

オーナー牛の写真については、新しい写真を撮りしだい掲載していきます。

そのため、オーナー牛の写真を撮られた際に事務局までメール(下記のアドレス)で写真を送って頂けると助かります。

メールに写真を添付して頂き、メール本文には「送り主(受入れ家庭の方)の名前」、「オーナーさんの名前」、「牛の名号」、「撮影日」をわかる範囲で記して頂ければ助かります。

メールアドレス⇒ green-ma@aso.ne.jp

**《会費入金のお願い》**

会則で決められている通信費等の今年度分の年会費 2000 円(農家の方は 1000 円)の入金をお願いします。

一部未納の方がいらっしゃいますので、まだお済でない方は入金をお願いいたします。

あか牛オーナー制度に関してご意見・ご要望がありましたら電話、FAX、郵便でも結構ですので財団までお知らせ下さい。検討の上、可能な範囲で対応させていただきます。本制度をよりよくしていくためにもよろしくお願い致します。

担当: 阿蘇グリーンストック 赤崎恵

**謝辞**

オーナーの皆様、受入れ農家の皆様、オーナー通信に関わってくださった皆様に末筆ながらお礼申し上げます。

+++++

編集・発行

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

〒869-2237 熊本県阿蘇市的石 1537-1

TEL: 0967-35-1110 (代)

FAX: 0967-35-1151

E-mail: [green-ma@aso.ne.jp](mailto:green-ma@aso.ne.jp)

HP : <http://www.asogreenstock.com/>